

放課後等デイサービスBRIDGE

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	指導訓練室は子供たちが思い切り遊べる十分なスペースが確保できている。それでも活動によっては狭くなる時があるので、人数を分けて活動するなどの工夫をしている。	室内でもさらに楽しめるように、遊びや運動のレパートリーを増やす。 小学校高学年や中学生が思い切り遊ぶには手狭なので中学生でも思い切り楽しめる遊びや運動の考案が必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	特に休日の延長支援の時間帯は、利用人数を考慮して適切な人員を確保するように心がけている。 大きく2部屋に分かれているが、利用者の移動に合わせて職員配置のバランスをとり安全を確保している。	体操教室で職員が抜けたときに人員不足を感じることがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	細かい物理的構造化に適した施設ではないが、必要な際は出来る限りの構造化を行っている。	必要時はバリアフリー化の検討を行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清掃は細かいところまで行うように心がけている。また、トイレやシンク等汚れやすい場所は、1日に2回の清掃を行う等の工夫をしている。	なし。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子どもの特性に応じて、居室使用の時間を分けるなどの対応をしている。	施設の構造上、完全に個別の空間を設けることは難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	半年に一回の目標設定と振り返りを行い、日常でも目標の確認を都度行っている。	業務改善について、ミーティングや会議時以外でも意見がでるようにしたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年保護者アンケートを行い、公表したうえで業務改善に繋げている。	アンケートの回収率を上げたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングと、長期休暇後のミーティングで意見を出し合っている。	もっともっと風通しの良い職場にして、どんな意見でも言い合える職場作りに努めていきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者による外部評価はまだ行っていないが、研修等にお越しいただいた外部講師の方からはよい評価やアドバイスを頂いている。	ゆくゆくは第三者評価を行いたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	年に2～3回の社内研修を行い、必要時は外部からの出前研修も行っている。 資格取得に関わる研修に費用は法人負担としている。	社内研修の内容や質の向上を求めている。 外部の研修を受講する機会を増やしたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	適切に作成と公表を行っている。	内容について都度更新が必要である。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	毎日のお迎え時に保護者様と情報交換を行い、家庭や学校での困り事も個別支援計画に反映させている。	小学生の利用者が多く、ご本人から直接ニーズの聞き取りはほとんど行っていない。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個別支援計画の更新時には毎回、職員間で意見交換をしている。	職員の療育に対する知識のさらなる向上が必要。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画の更新後は全職員に共有している。また、日々のMTにおいて子供たち1人1人に対して、意識して関わる事項の共有も行っている。	計画のすべてを頭に入れて支援に臨むのは難しく、計画に沿わない支援が行われることが稀にある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントシートは事業所独自の提携のものを使用している。日々のMTででた特記事項は各月のモニタリングとして記録している。	アセスメントシートの見直しや改善は行っていない。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	必要事項を網羅して、具体的な計画を立てている。	「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内容が多くの子どもの児童で似たような内容になることがある。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	行なっている。	意見を出す職員に偏りがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	日々のMTで、その日の活動をよく考えて提供している。	毎日違う内容の活動を提供しているが、児童によってはマンネリを感じている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別対応、集団活動どちらを行うか、子どもの特性や周囲の環境、お友達との相性等様々な事項を考慮して計画を立てている。	児童同士の相性により、集団活動が組みにくい事がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日のMTで活動内容の検討から、どの職員が支援にあたるかが適切かまで、細かいところまで話し合っ支援に望んでいる。	特になし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日のMTで前日の情報交換を行い、支援内容の可否を意見し合い、以降の支援に繋げている。	各職員の療育に対するさらなる知識の向上が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	特記事項があれば必ず記録している。	特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングは毎月、計画の見直しは規定通り6月に1回行っている。	特になし。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	今年度更新のガイドラインを意識しながら支援を組み立てている。	新ガイドラインに気付くのが遅れていた。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自己決定については事業所で特に力を入れており、あらゆる場面で「自分で決める」ことを意識して支援している。	自己決定の選択の提示の仕方にさらなる工夫をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	各種会議には児発管を中心に、適切な職員が参加している。	会議に参加できる知識を持った職員を増やしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	いつでも情報交換ができるように準備している。	具体的に医療機関等とのやりとりは今のところない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	子どもの状況に変化が見られた際は、こちらから学校に連絡して情報交換をおこなうなど、積極的にコンタクトをとっている。日々の送迎は問題なくおこなえている。	児童の変化等について学校側から連絡がきたことは無い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	担当者会議に参加して必要な情報は得ることができている。	セルフプラン児童は担当者会議が行われないため、保育園等とのやりとりができていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	卒業生が出た場合は情報共有できるように準備している。	特になし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	児童発達支援センターとの連携は積極的には行っていないが、子どもの関りについての困り感が大きくなったときには行政に相談するなどの対応をしている。	特になし。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	今年度は児童館利用のほか、地域のイベント等にも参加する機会を設けられた。施設外にも遊びに出る機会を多く設けている為、交流は多い。	固定曜日での利用の児童が多いため、地域交流の機会は平等ではない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	していない。	佐賀市内近郊での自立支援協議会の存在を確認できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎日のお迎え時によく情報共有を行っている。特に必要な時は家族支援として、事業所対面にて相談を行っている。	お迎え時の現場の状況により、申し送りの時間が短くなってしまうことが稀にある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	家族支援のプログラムは作成していないが、相談があった際には適切な助言をするように心がけている。また、保護者会では、ペアレントトレーニングを兼ねた内容を盛り込み、保護者様の勉強の機会を提供している。	ペアレントトレーニングには保護者様との信頼関係作りが大切であり、難しさを感じる事もある。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時、変更時には丁寧に説明している。	保護者様の理解度の確認まではできておらず、休業日に間違えて来所される事が何度かあった。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	基本的に保護者様対面、タイミングが合えばご本人の意見や希望を聞いて、計画を作成している。	ご本人の意思確認の場面は少ない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	適切な手順で同意を得ている。	コロナ過から机と椅子を出しての会議は行っていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談があった際には個別に時間を設けて適切に対応している。	全ての保護者様が悩みや相談事を伝えてくれているかはわからない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会でのレクや兄弟参加のイベントの企画をしているが、多くの回数は確保できていない。	今後もイベント機会の確保に努めていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情窓口を設置して、適時適切に対応している。	全ての保護者様が思いを伝えてくれているかはわからない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1回「BRIDGE新聞」を発行。HPやSNSを都度更新している。	特になし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	同意を得たうえで、十分注意して取り扱っている。写真の掲載については、契約時以外にも不定期だが再度の確認を行っている。	特になし。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	行なっている。	特になし。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	地域住民の招待等は行っていないが、ご近所の方も時々事業所の様子を覗きに來られる等十分な理解を得られている。学校の職員や親御さんに対してフリー参観を行った。	地域住民の方を招待する大きなイベントは行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルは作成しており常に閲覧できるように事業所玄関に配置している。また、定期的に各種訓練も社内研修の一環で行っている。	特になし。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	同上。	特になし。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	服薬や対処方法を研修で行っている。	痲癇時の対応について、研修は行っているが看護職員不在時は不安がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーの確認を行い、お菓子等が出さないように気をつけている。医師の指示書が必要な児童はいない。	特になし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画は作成している。施設内の破損箇所や危険箇所については全職員が常にアンテナを張り、都度改善するように徹底している。	施設外（お出かけ先等）の施設の安全対策マニュアルがまだ不十分。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画は事業所玄関に配置して常に閲覧できるようにしている。	作成時に案内は出しているが、全保護者様に周知できているかは分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	案件発生時はヒヤリハットを作成して、MT時に情報共有と再発防止策の検討を行っている。	特になし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年1回の研修と、年2回にセルフチェックを行っている。	特になし。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	個人ごとに身体拘束必要の有無を検討して、保護者に同意のうえ、個別支援計画に記載している。	特になし。